

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学臨床検査医学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026 年 6 月

福島県立医科大学臨床検査医学講座 志村 浩己

■ 研究課題名

造血幹細胞移植後の肝類洞閉塞症候群(SOS/VOD)症例における Shear Wave Elastography(SWE)および SWD (Shear Wave Dispersion) の診断・予後予測における有用性に関する後ろ向き観察研究

■ 研究期間

2026 年 6 月 ～ 2028 年 3 月

■ 研究の目的・意義

造血幹細胞移植後の重篤な合併症である「肝類洞閉塞症候群（SOS/VOD）」は、早期発見が極めて重要です。本研究では、過去の診療データを用い、超音波検査で測定される「肝臓の硬さ(SWE)」や「粘り（SWD）」の数値が、従来の診断方法よりも早く、かつ正確に病状の変化を捉えられるかを検証します。これにより、将来的に移植を受ける患者さんの救命率向上や、より身体に負担の少ない診断法の確立を目指します

■ 研究対象となる方

2021 年 1 月から 2025 年 12 月までに、福島県立医科大学附属病院において造血幹細胞移植を受け、かつ当院検査部で超音波検査（SWE、SWD、HokUS-10 の測定）を受けられた患者さんが対象です。

■ 研究の方法

調査・追跡期間：対象となる患者さんの、移植前、移植後約 1 週間ごと、および医師が観察を希望した期間（移植後約 1～5 か月間）において実施された超音波検査等の診療データを収集・解析します。

情報の種類: 性別、年齢、病名、移植の種類、血液検査結果（白血球数、血小板数、ビリルビン値等）、超音波検査データ（肝臓の硬さや粘りの数値、腹水の有無等）、臨床経過（体重の変化、診断の有無）などのデータを収集します。

利用方法: 過去の診療録（カルテ）から上記データを抽出し、個人が特定できないよう氏名等の情報を削除した上で解析を行います。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026 年 7 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学臨床検査医学講座であり、研究責任者は臨床検査医学講座 志村浩己です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木 弘行であり、これらの情報は福島県立医科大学臨床検査医学講座において利用・解析されます。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

本研究において、他の機関へ試料・情報を提供することはありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

福島県立医科大学 附属病院検査部 担当：松田美津子

電話：024-547-1469

e-mail：mda-m@fmu.ac.jp